

ナルニア国物語

魔術師のおい

5

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第5話 世界のあいだの森(前編)







……はい



きっと
水の中にいるんだ



…どうにか

ト
キッ

水の下に
いるのかな？



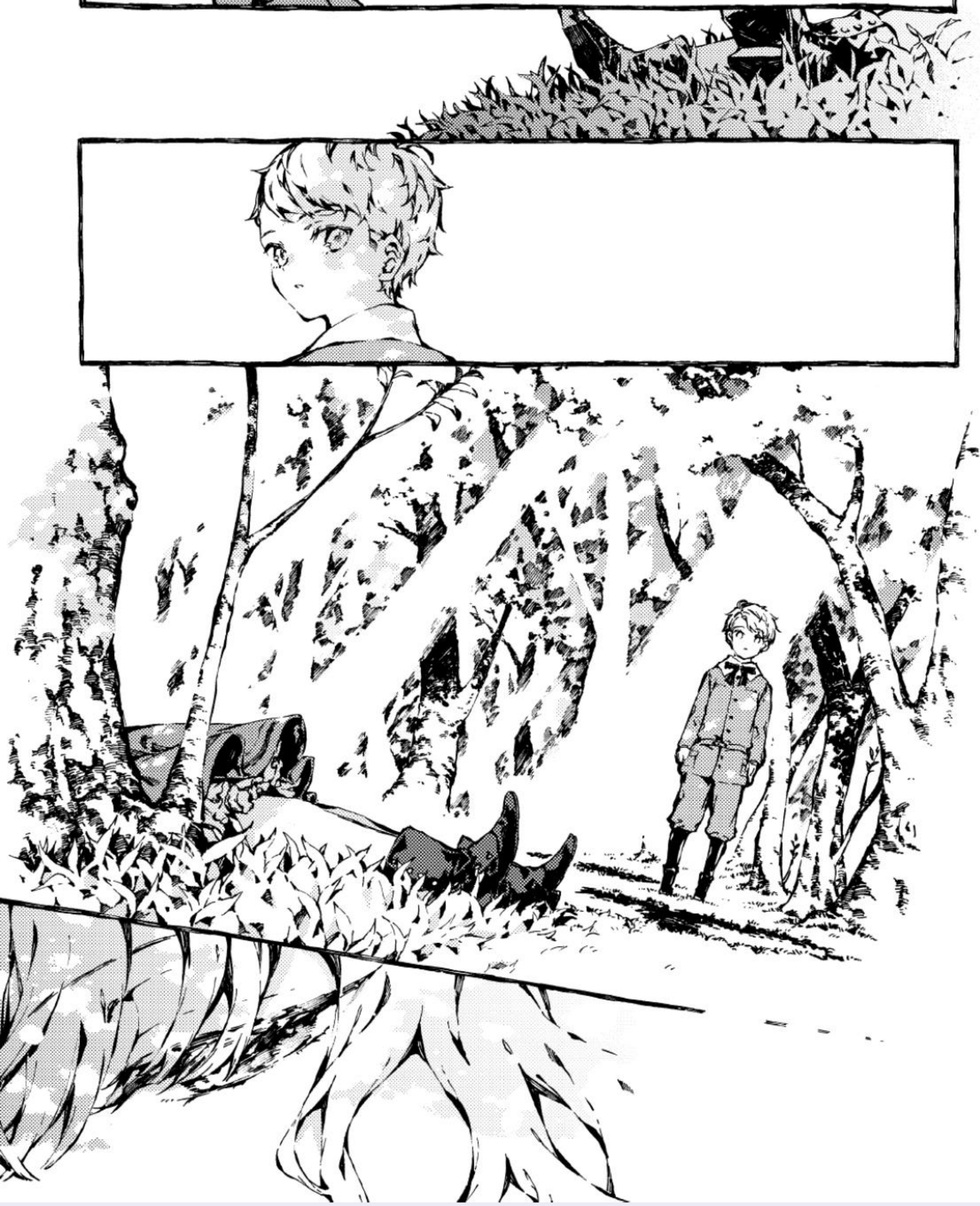




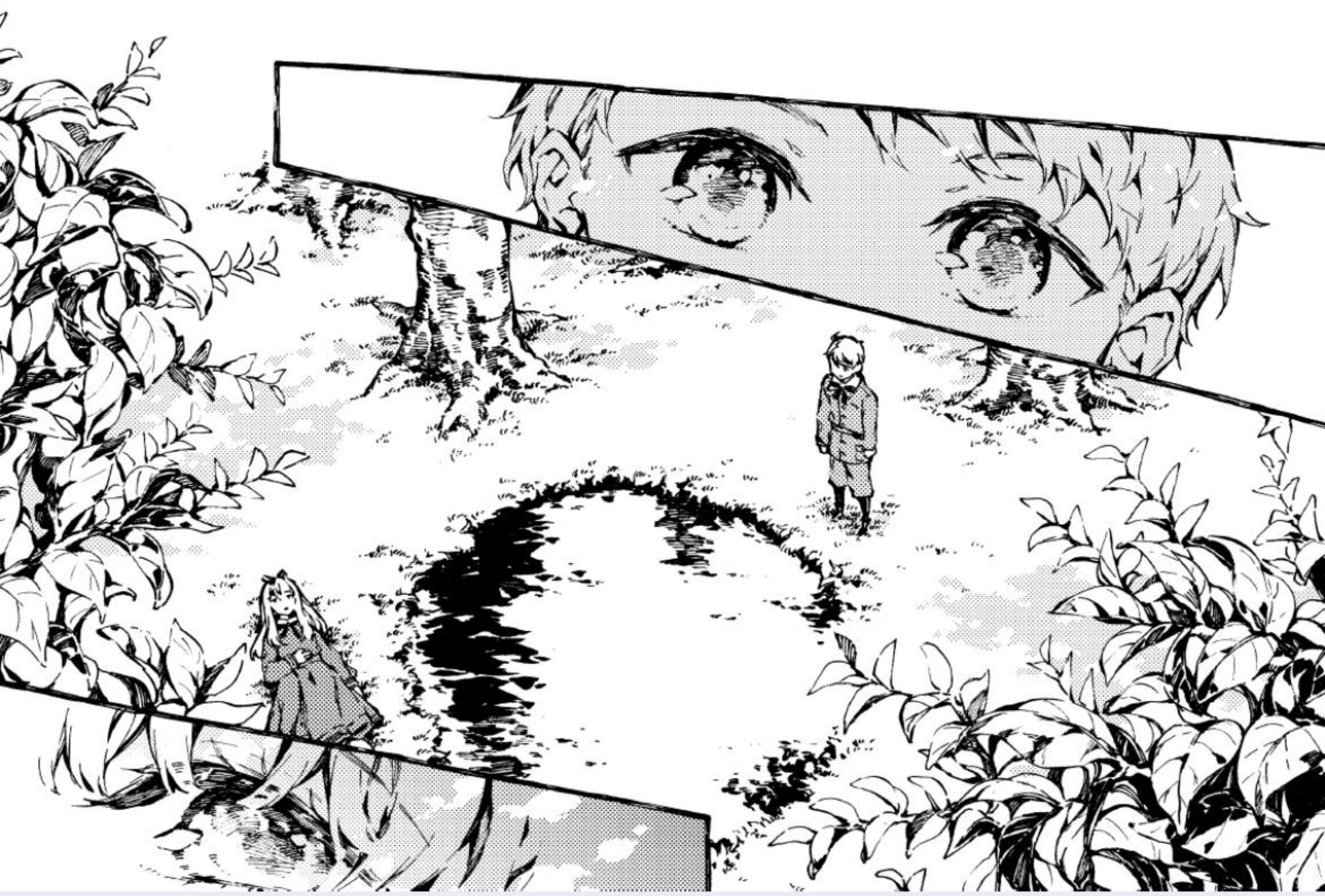














ぼくも
だよ

だって

さっき

そんなはず
ないでしょ

あの水たまりから
出てくるところを
見たもの

……ああ

そうだ

忘れてた……

——ねえ



わたしたちって

ほんとうに
前に会ったことが
あるんじゃない？

わたし

何となく
思うんだけど――

ていうか

頭の中に場面が
うかぶんだけど――

わたしたち
みたいな
女の子と
男の子がいて

なんだか
こことは
ずいぶん
ちがう場所に
住んでて

たぶん

いろんな
ことをして……

ただの
夢だったのね

ぼくも同じ夢を
見たような気がする

男の子と
女の子がいて

となりどうしの
家に住んでて――

あと

梁をつたって
歩いたような……

女の子が
汚れた顔
してたのを
おぼえてる

それって
逆じゃない？

わたしの夢では
顔が汚れてたのは
男の子のほう
なんだけど

ぼく

男の子の顔は
思い出せないなあ

ハッ…









ケタリーさん！

アンドリュー
伯父さん！

思い
出したぞ…

伯父さんめ！

ポリー

あの後
ぼくは—



これから
どうする？

この
モルモットを
連れて

うちに
もどる？

そんなに
急ぐことないよ

ふわあ

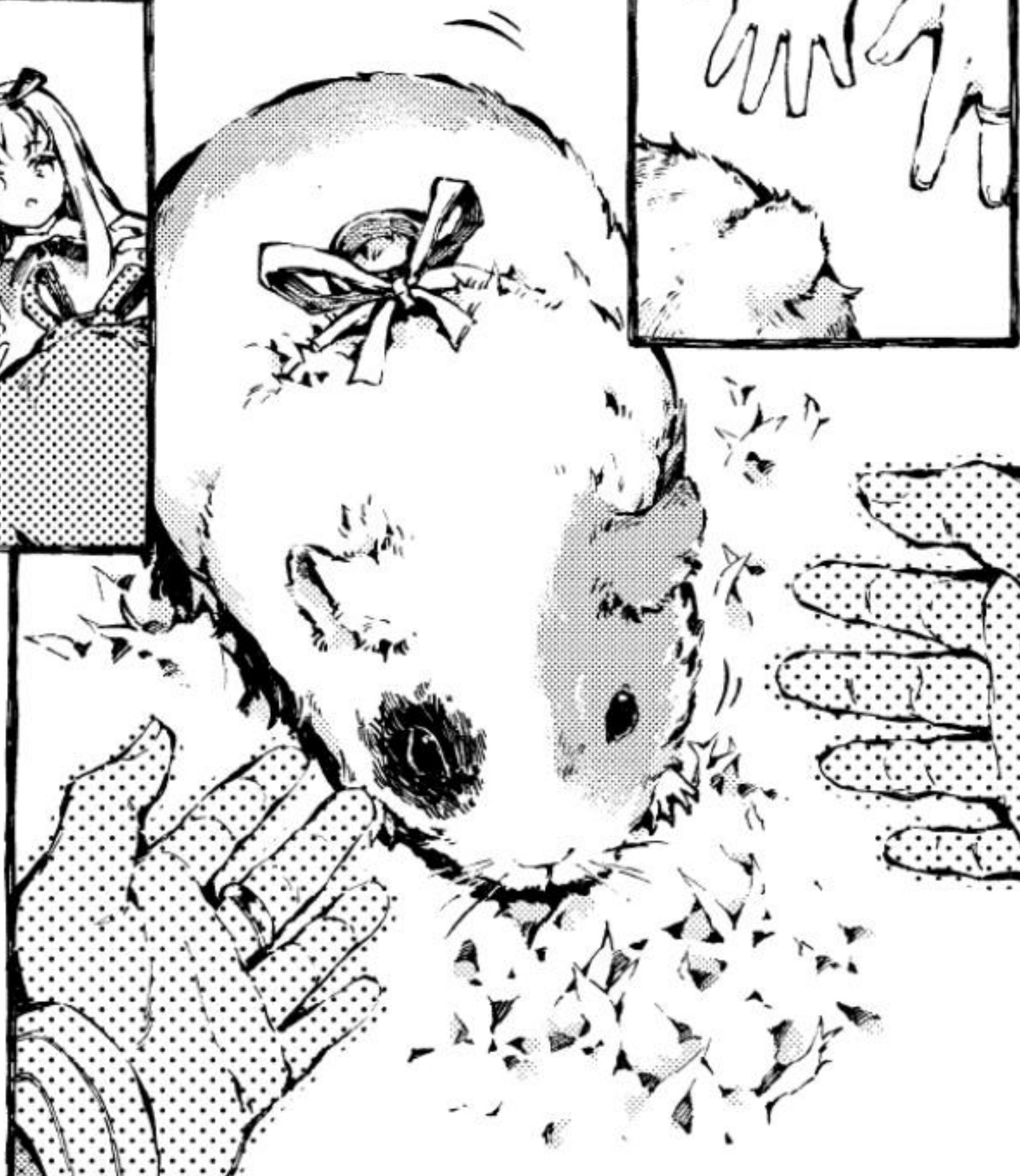
…急いだ
ほうが
いいと
思うわ

ここは
静かすぎるもの

なんだか――

なんだか
夢見心地に
なっちゃうのよ

あんたなんか
もう眠りそうに
なってるし







水着とか
ないんだけど

水着なんか
いらないよ

バカだな



服を着たまま
はいるんだよ

来るとき

服がぜんぜん
ぬれなかったこと
おぼえてないの？



あんた泳げる？

少しは
そっちは？

まあ……

たいしたこと
ないけど

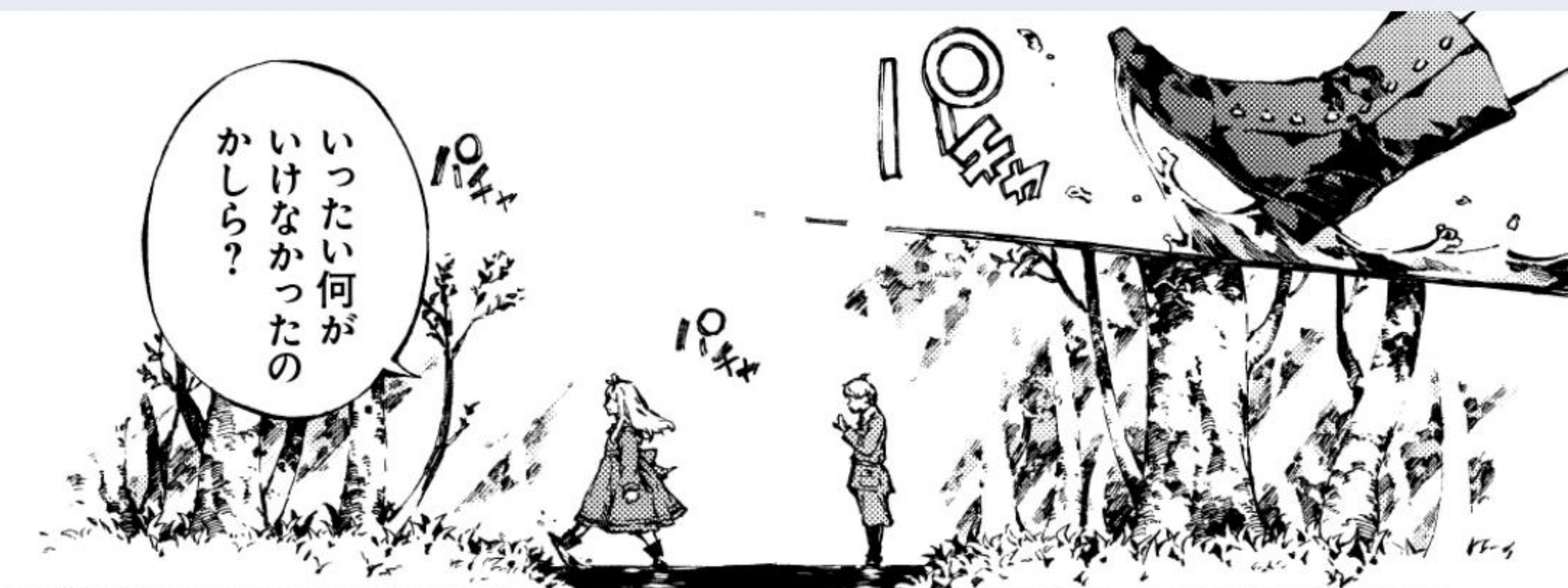
泳ぐ必要は
ないんじゃないかな

底のほうへ
沈んで
いきたいんだから

ちがう？







いったい何が
いけなかったの
かしら？



あ

わかった！

うまいかない
はずだよ

黄色の指輪は
『行き』の指輪なんだ

緑の指輪が
『帰り』の指輪
なんだよ

だってまだ
黄色の指輪を
はめたままなもの

だから指輪を
とりかえないと

きみの服
ポケットある？

黄色の指輪を
左のポケットに
入れて

ぼくが緑の指輪を
二個持つてるから

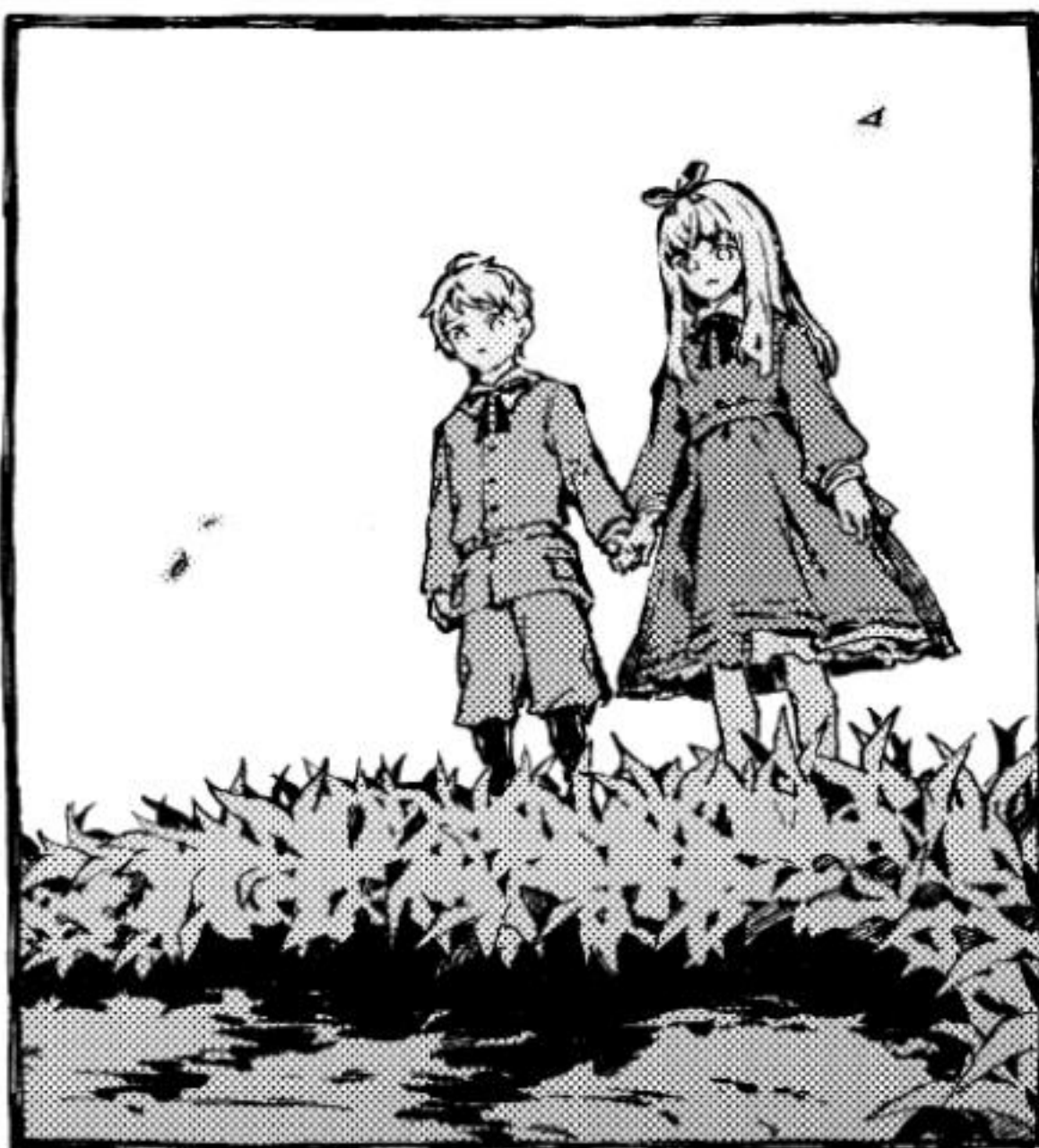
はいこれ

よかった

きみのぶん

そうだ！

あ





すごくいいこと
思いついたんだ

ね

ほかの水たまりは
どうなってるんだろう？